

令和 4年度予算見積調書

課室名：河川環境課
 担当名：河川環境担当
 内線：5112

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B56	川の再生推進費(拡充)			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の再生推進費(拡充)			
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	河川法第9条			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	8, 11, 13, 15, 17	
	令和12年度				分野施策	1002	恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット	8-9, 11-5, 13-1, 15		
1 事業概要				5 事業説明							
<p>埼玉版SDGsは、「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を重点テーマの1つに掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。</p> <p>河川は、洪水から生命や財産を守る治水機能、生活に必要な水の確保などの利水機能を担うだけでなく、河川を持つ自然や水辺空間は生物の生息・育成環境や人々の豊かでゆとりのある生活環境を提供している。</p> <p>そこで、民間事業者等とも連携し、環境、社会、経済の三側面から「豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉」の実現に向けて川の再生を実施する。</p> <p>(1) 調査・測量・設計費 28,000千円 (2) 施設整備費 59,917千円</p>				<p>(1) 事業内容 水辺deカーボンニュートラルの推進 87,917千円 河川・砂防施設等の自然再生エネルギーを活用した良好な河川環境の維持と地域の活性化を図る。</p> <p>(2) 事業計画 河川等を活用した小水力発電を進める市町村・民間事業者等を支援</p> <p>(3) 事業効果 県の目指すべき将来像「省エネルギーなどの推進による脱炭素社会の実現及び気候変動に適応した持続可能な社会」の実現に向け、河川管理施設を活用しカーボンニュートラルを促進し、新たな収益を生み出す。これにより持続的な河川空間の利活用や河川環境の保全につながる。</p>							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×0.7人=6,650千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員											
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比		
決定額	87,917	県 債					917	87,917			
前年額	0						0				